

第 31 回建設業経理事務士検定試験

4 級試験問題

注 意 事 項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄があります。氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

【第1問】 次の各取引について仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の〈勘定科目群〉から選び、その記号（A～R）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた(例)に対する解答例にならって記入しなさい。(24点)

(例) 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) 上野工務店は、現金¥450,000及び建物¥500,000を元手として建設業を始めた。
- (2) 本社事務所で使用する家具を購入し、その代金¥220,000を支払うため小切手を振り出した。
- (3) 完成ののち発注者に引き渡した工事の代金¥400,000が、引渡しと同時に当座預金に振り込まれた。
- (4) 完成した工事に係る外注費¥130,000を完成工事原価勘定に振り替えた。
- (5) 本社事務員の通勤定期代¥50,000を現金で支払った。
- (6) 現場作業員の賃金¥150,000を現金で支払った。

〈勘定科目群〉

A 現金	B 当座預金	C 普通預金	D 旅費交通費	E 建物
F 備品	G 事務用消耗品費	H 資本金	J 完成工事高	K 完成工事原価
L 材料費	M 労務費	N 外注費	Q 経費	R 給料

【第2問】 次の設問に答えなさい。(20点)

問1 次の文の の中に入る用語として適当と思われるものを下記の〈用語群〉から選び、その記号（ア～ト）を解答欄に記入しなさい。

- (1) 日々の取引を借方・貸方の 1 と金額を用いて記録することを、 2 といい、 2 は 3 に記録される。 3 の記録は、 4 に設けられた各 5 に 6 される。そして、 7 を作成することによって、 6 の正確性を検証することができる。
- (2) 資金の貸付により生じる資産は、 8 勘定で処理される。資金の借入れに伴って生じる負債は、 9 勘定で処理される。これらの資金の貸借は通常、利息の授受を伴い、資金の借入れに伴って発生する利息は 10 勘定で処理される。

〈用語群〉

ア 現金	イ 仕訳帳	ウ 支払利息	エ 受取利息	オ 仕訳
カ 借方	キ 貸方	ク 転記	コ 総勘定元帳	サ 合計試算表
シ 残高試算表	ス 貸借対照表	セ 損益計算書	ソ 貸付金	タ 借入金
チ 勘定口座	ト 勘定科目			

問2 次の各取引について、1 交換取引、2 損益取引、3 混合取引のどの取引に属するか、その番号（1～3）を解答欄に記入しなさい。

- A 本社事務員の給料を現金で支払った。
- B 銀行から営業資金の借入れを行い、利息を差し引かれた残高が当座預金に入金した。
- C 普通預金から現金を引き出した。
- D 建物を購入し、その代金を支払うため小切手を振り出した。
- E 工事が完成し、引き渡しと同時に小切手で代金を受け取った。

【第3問】 武蔵工務店に関する次の<資料1>及び<資料2>に基づいて、解答用紙の合計残高試算表（平成×年1月31日）を完成しなさい。 (30点)

<資料1>

借方	勘定科目	貸方
340,000	現金	135,000
723,000	当座預金	405,000
71,000	備品	
180,000	土地	
190,000	借入金	385,000
	資本金	580,000
	完成工事高	285,000
38,000	材料費	
38,000	労務費	
40,000	外注費	
25,000	経費	
120,000	給料	
2,000	通信費	
1,000	事務用消耗品費	
5,000	旅費交通費	
15,000	支払家賃	
2,000	支払利息	
1,790,000		1,790,000

<資料2> 平成×年1月26日から31日までの取引

- 26日 手許現金として当座預金から¥150,000を引き出した。
- 27日 本社事務員の交通費¥6,000を現金で支払った。
- 28日 工事現場の電話代¥9,000が当座預金から引き落とされた。
- 29日 受注した工事が完成したので発注者に引き渡し、工事代金¥300,000は現金で受け取った。
- 30日 本社事務員の当月分給料¥150,000を現金で支払った。
- 31日 借入金の利息¥5,000を小切手を振り出して支払った。

【第4問】 次の事項を参照のうえ、解答用紙の精算表を完成しなさい。 (26点)

- (1) 当期末において工事はすべて完成し、引渡し済みである。
- (2) 工事に関する原価は、すべて完成工事原価勘定に振り替える。